

3-2 修景のポイント

まちなみづくりのテーマや方針を実現するために、みんなで守っていききたい具体的な「修景のポイント」を示しました。まちなみづくりとは、建物や塀などの外観を「修景」する(まちなみを揃える)ことを言います。

①自然素材を優先する

木や石、漆喰など、伝統的な素材を優先して使いましょう。

②まちなみに調和した色を選ぶ

自然素材の色合いを参考に、まちなみに調和した、落ち着いた色を選びましょう。

③防火性を高めるよう工夫するとともに、

人にやさしく、暮らしやすいまちなみづくりに努める
路地内に建つ場合などは、建物の耐火性を高めるほか、地域ぐるみでの防火性を確保するよう工夫しましょう。また、お店等、様々な人が集まる建物では出入口等に誰もが使いやすいデザイン、しつらいを取り入れるよう努めましょう。

④伝統的建物に見られる形態・意匠を活用する

伝統的建物に見られる庇、壁面や格子や引き戸等開口部、軒下空間などの形態・意匠を活用しましょう。

⑤平入り勾配屋根を基本とする

伝統的建物に見られるような、切妻・入母屋で平入りといった勾配屋根を基本にしましょう。

⑥高さは周囲を見てきめる

新しい建物などは、その通りにある伝統的建物やまちなみを参考にして、高さを決めましょう。

⑦軒庇のつらなりをつくる

伝統的建物の軒庇による連続性を大切にし、新しい建物などにもとり入れましょう。

⑧軒下空間のとり方を工夫する

庇のつらなりとともに、たたきや石敷等伝統的な床仕上げなど、軒下空間のとり方を工夫しましょう。

⑨壁面の連続性をつくる

伝統的建物の壁面位置を尊重して、まちなみの連続性をつくりましょう。

⑩高低差・地形や路面仕上げなど、

通りとの関係を尊重する

特徴的なまちなみの要素である坂道や階段、石・レンガ道など、通りと建物の関係を尊重しましょう。

⑪塀・柵・門などはまちなみに配慮する

伝統的な形態を尊重し、新しい建物や駐車場・オープンスペース等の場合も、素材や色彩など、まちなみとの調和や連続性に配慮しましょう。

⑫店構えや看板、設備はまちなみに配慮する

店舗の場合は、伝統的様式を尊重しつつまちなみとの調和や連続性に配慮し、看板・設備のデザインや配置を工夫しましょう。

⑬路地空間やオープンスペースは

まちなみに調和するよう工夫する

通りとのつながりや見え方を重視し、伝統的な舗装を施したり、街灯・設備のデザインや配置をまちなみと調和するよう工夫しましょう。

⑭マンション等まちなみへの影響が大きい建物は、

まちなみに調和するよう工夫する

マンションなどの大規模な建物は、まちなみへの影響が大きいので、周辺との調和を特に工夫しましょう。

※①～③は、全体に関わる事項です。

⑬路地空間やオープンスペースはまちなみに調和するよう工夫する

⑤平入り勾配屋根を基本とする

⑧軒下空間のとり方を工夫する

⑩高低差・地形や路面仕上げなど、通りとの関係を尊重する

⑬路地空間やオープンスペースはまちなみに調和するよう工夫する

⑫店構えや看板、設備はまちなみに配慮する

④～⑨

⑦軒庇のつらなりをつくる

⑥高さは周囲を見てきめる

⑭マンション等まちなみへの影響が大きい建物は、まちなみに調和するよう工夫する

⑬路地空間やオープンスペースはまちなみに調和するよう工夫する

⑪塀・柵・門などはまちなみに配慮する

⑨壁面の連続性をつくる

④伝統的建物に見られる形態・意匠を活用する